

記入見本：妻が外国籍の場合

婚姻届

令和 7 年 6 月 20 日 届出

在シンガポール日本国
大使館
総領事 殿

フリガナはカタカナで記入

【夫の欄】 戸籍に記載の通り、ハイフン等を使用せず、都道府県名から地番まで正確に記入してください。

【妻の欄】 国籍を記入してください。

この欄に記入した外国籍妻の氏名（原則カタカナ）が、戸籍に記載されます。小書き文字（例：ッ）を使用する場合は、文字サイズを明確に小さく記入してください。

	夫 になる 人		妻 になる 人	
(1) 氏 名	夫 氏 外務	妻 名 省一	夫 氏 タン	妻 名 メイリン
生 年 月 日	昭和 60 年 8 月 28 日		西暦 1990 年 2 月 20 日	
(2) 住 所	シンガポール共和国 ナッシムロード16 03-10号		シンガポール共和国 左に同じ	
(3) 本 籍	東京都目黒区 下目黒二丁目19		シンガポール共和国	
(4) 婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍	☐ 夫の氏 ☐ 妻の氏 東京都目黒区下目黒二丁目19		☐ 夫の氏 ☐ 妻の氏 シンガポール共和国	
(5) 同居を始めたとき	平成・令和 5 年 12 月		結婚式をあげたとき、または、同居を始めたときのうち早いほうを書いてください	
(6) 初婚・再婚の別	☒ 初婚 再婚 ☐ 死別 ☐ 離別		☐ 初婚 再婚 ☐ 死別 ☒ 離別	
(7) 同居を始める前の夫婦のそれぞれの世帯のおもな仕事と	夫 妻 ☒ ☐ ☐ ☒ ☐ ☐		夫 妻 ☐ ☐ ☐ ☒ ☐ ☐	
(8) 夫 婦 の 職 業	(国勢調査の年) 夫の職業		妻の職業	
その他	婚姻後の新本籍を、ハイフン等を使用せず、都道府県名から地番まで正確に記入してください。 【新しい本籍を、婚姻前（現在）の本籍とは異なる場所に設定する方へ】 当館での婚姻届の手続きに先立ち、「新しい本籍の場所が、本籍地として設定できるか」に関して、管轄する市区町村役場にあらかじめ確認してください。 署名欄・押印欄共に、ブランクのままでも当館に持参願います。届出人となる日本国籍の夫になる方に、当館窓口にて署名いただきます。（押印は任意）			
届出人署名（※押印は任意）	夫		妻	
	印		印	

国勢調査の実施年にもみ、記入いただきます。詳細は、当館窓口等にてご案内します。

電話番号は、日中に連絡可能なものを記入し、メールアドレスは誤送信防止のため、読み方を補足の上、丁寧に記入してください。

Mobile: +65-XXXX-XXXX

E-mail: g2134q5s8_sample@ne6r7o90

ジーイチキュー アンダー エムエル エヌ アールオーゼロ